

令和5年度 第2回防府市障害者保健福祉推進協議会及び防府市地域総合支援協議会
会議録要旨

日 時: 令和6年2月15日(木) 午後2時から午後3時まで

場 所: 防府市役所 4号館3階第一会議室

事前配付資料の確認

次第「1 開会」「2 委員・事務局の紹介」は記載省略

3 議事

(1) 防府市障害福祉計画(第7期計画)防府市障害児福祉計画(第3期計画)について

【事務局説明】

防府市障害福祉計画(第7期計画)防府市障害児福祉計画(第3期計画)について説明

【質疑応答】

(意見なし)

(2) 医療的ケア児支援について

【事務局説明】

医療的ケア児支援について説明

【質疑応答】

A 委員 市内でサービスが不足している場合に、民間の事業所に参入してもらわないと対応できないという回答がみられる。ニーズがあるのであれば、市内に開設してもらうよう十分に説明をする必要がある。

事務局 これからも事業者に理解してもらえるよう説明をしていきたい。

会長 支援事業を踏まえ、市内のどこの保育所等でもニーズに応じて看護師等が配置されるようにお願いしたい。

(3) 地域生活支援拠点等について

【事務局説明】

地域生活支援拠点等について説明

【質疑応答】

B 委員 短期入所事業所には事前に相談をしておいて、介護者が不在となった場合にスムーズに利用できるとよい。

事務局 緊急的に介護者が不在となった場合に短期入所の受入れを行った事例がある。今後も進めて参りたい。

会長 障害のある人が安定して地域で生活できるために、この制度について委員からも周囲に情報共有してほしい。

C 委員 市での周知活動はどうしているか。

事務局 障害福祉サービスを利用している障害のある人には、相談員から伝えてもらっている。障害福祉サービスを利用していない障害のある人への周知方法は検討したい。

D 委員 他の会議において、医療的ケア児をはじめとする災害弱者の方が、実際に災害が起こったときにどのような避難をするかという話題になったことがあり、消防関係者が委員となっている会議では議論が進むのが早いようなので、委員に消防関係者も入られた方がいいのではないか。

災害が起こった場合の避難を考えないといけないと思っているので、委員の意見を伺ったり、市に質問をしたりすることがあると思うので、その際にはお願いしたい。

事務局 能登半島地震を受けて、市で昨年度から取り組んでいる個別避難計画についてさらに進めていかなければならないということで、高齢福祉課と協力して進めている。

福祉と言っても多岐にわたるので、面的に対応できるようにしたい。

D 委員 災害が起こった場合に、地域の、どの家にもどのような状態の方が住まれているのか、避難時に支援が必要なのかなどを心配している。

E 委員 避難計画書を作成しているかという声掛けだけでも、各家庭で意識されるというきっかけになると思う。能登半島地震の報道を見ていると、障害のある方は住まいの環境が変わることで困惑されている。心のケアを含めた計画を作っているかとの声掛けだけでも違うと思う。

B 委員 デイケアなどの施設に行っているときに鉄道が止まるなどの事態が起こって、親が迎えに行かないと次の行動がとれないということが起こる。

精神障害のある人であれば人がいるところに行きたくないのも、避難所に行くことができない、行っても周囲の人と一緒にいられないという事態がある。市に相談したら、障害のある人の避難所を検討していると言っていた。一般の人と違い、身体障害のある人は一人で避難することができないなど、普通の避難とは違うということを具体的に考えてもらいたい。

事務局 個別避難計画を作成していく中で、まずは本人、家族が避難ということについて、どの段階で避難するか、どこに避難するかを意識することが重要。委員の周囲の方が計画作成について悩まれていたら、相談に乗ってもらえたらそれだけで安心されるということもあると思うので、協力をお願いしたい。